

キカラシ (シロカラシ) の雑草抑制効果 - 1 / 2

2015年 オホーツク 高橋農場



緑肥作物キカラシは、播種後50日前後で黄色い花が咲きます。炭素率が低いため分解が早くビート・秋播き小麦の前作に最適。

推奨 播種量は、 2～3 kg / 反
肥料分は、 N-P-K 各5～8 kg / 反



2014年の美幌高校での圃場視察において

「緑肥のキカラシを栽培した後に小麦を播くと雑草が少ない。」 という事例を知り、自然農法圃場での芋連作回避の選択肢のひとつ小麦導入に向けて、自然農法・有機JAS圃場の無肥料区部分の一部(6a)で試験を行っています。



5月30日 播種 2kg
カルチ掛け
6月8日 出芽
7月10日 開花



(6月13日)



(6月26日)



(7月3日)



(7月12日)



播種して40日程で開花しました。すき込みは、20日頃までに予定します。キカラシの畝の中を見ると、隣の大豆と比べて明らかに雑草が少ないです。隣の大豆の畝には、スベリヒユ・イヌビユ・イヌビエ・アカザ・タデ・ヒエ・スギナ・つる草がうんざりする程繁茂しています。

キカラシ (シロカラシ)

の雑草抑制効果 - 2 / 2

2015年 オホーツク 高橋農場

7月14日 キカラシ すき込み



7月27日：8月10日 整地

9月21日の状態： 22日 整地



9月27日 朝、秋播き小麦播種：整地

午後の豪雨で別の畑はこんな状態に



10月12日 小麦発芽状態

11月12日 秋播き小麦の様子

